

## 平成22年度予算策定における留意点

- ・統合データベースプロジェクトの最終成果として十分な目標設定と実行計画になっているかどうか
  - ・平成23年度以降の予算状況も鑑み、JSTの新組織に継承すべき内容かどうか
  - ・中核機関であるDBCLSの活動を維持発展させ、さらにプロジェクト最終成果をとりまとめるための予算が必要
- ➡
- ・作業部会分科会にて上記視点から各機関の計画を吟味し、評価する
  - ・次回の研究運営委員会にて上記内容について報告する

【ご参考】統合データベースに関わる想定される予算の推移

<文科省委託事業>

<ROIS運営費>

<JST BIRD事業>

850M¥		50M¥		1800M¥	
	430M¥	50M¥	220M¥		
	420M¥	700M¥			
H21	医薬・化合物、植物、立体構造、糖鎖、臨床、遺伝子多型等	DBCLS		基盤DB整備 (KEGG, PDBj, DDBJ等) バイオインフォマティクス研究 その他 (GBIF, JSNP)	

380M¥		50M¥		1800M¥	
H22	医薬・化合物、植物、糖鎖等	DBCLS		基盤DB、バイオインフォ等	

H23	DBCLS機能		事務局・戦略委託事業継続 基盤DB整備 その他	
-----	---------	--	-------------------------------	--

<新センター>